

JAPAN P O S T GROUP

この国のすべての人へ。



<https://recruit.japanpost.jp>

この国すべての人へ。

History of Japan Post Group

日本郵政グループのルーツは、1871年の郵便事業創業にまでさかのぼります。

長い歴史と伝統の中で私たちは、郵便局を拠点として親しみやすさと信頼を培ってきました。

そしていま、この郵便局というかけがえのない財産を基盤にして、

お客さまと地域を支える「共創プラットフォーム」を目指しています。

「共創プラットフォーム」とは、郵便、貯金、保険を核にしなが

時代のニーズに応じた新たなサービスを生み出し、

お客さまの生活をあらゆる面から支える企業です。

見つめるのは、全国のお客さまと地域社会に

一層の貢献ができる企業としての姿。

長い時を経ても私たちは立ち止まることなく、

挑戦を続けます。



日本郵政グループを知る

郵便局は計24,251カ所あり、日本全国を網羅しています。

これらの郵便局は、日本郵政グループがお届けする郵便・貯金・保険などいろいろなサービスの拠点となっており、これまで長い間地域に密着した存在として、皆さまに愛され続けています。

グループの沿革

- 1871 郵便事業創業
- 1875 郵便貯金事業創業
- 1885 逓信省発足
- 1887 「〒」マーク制定
- 1916 簡易生命保険事業創業
- 1949 郵政省発足
- 2001 郵政事業庁発足
- 2003 日本郵政公社発足
- 2007 日本郵政グループ発足^{※1}
- 2015 東京証券取引所市場第一部上場^{※2}
- 2018 本社機能大手町移転
- 2021 郵政創業150年

JPビジョン2025

日本郵政グループは、お客さまと地域を支える「共創プラットフォーム」を目指します。



※1 日本郵政(株)、郵便事業(株)、郵便局(株)、(株)ゆうちょ銀行、(株)かんぽ生命保険の5社体制で発足。後に郵便事業(株)と郵便局(株)が統合し、日本郵便(株)が発足。4社体制となる。

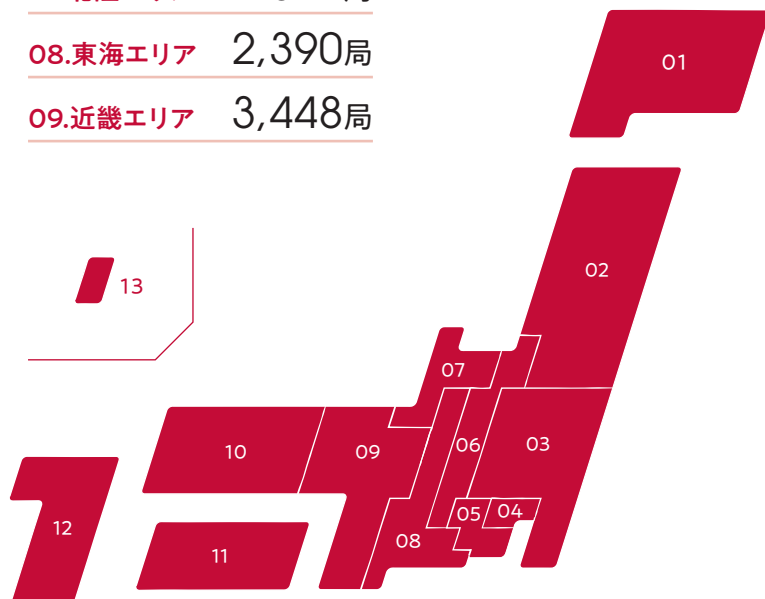
※2 日本郵政(株)、(株)ゆうちょ銀行、(株)かんぽ生命保険の3社が同時に株式上場。

全国の郵便局数(2023年3月末時点)

Total
24,251局

※簡易郵便局及び一時間鎖中の郵便局を含む

01.北海道エリア	1,496局	10.中国エリア	2,246局
02.東北エリア	2,582局	11.四国エリア	1,162局
03.関東エリア	2,580局	12.九州エリア	3,451局
04.東京エリア	1,502局	13.沖縄エリア	199局
05.南関東エリア	1,031局		
06.信越エリア	1,315局		
07.北陸エリア	849局		
08.東海エリア	2,390局		
09.近畿エリア	3,448局		



Performance >

確かな実績。



日本郵政

郵政創業

152年

1871年の創業以来、日本郵政グループはお客さまの生活に寄り添い、事業の幅を広げながら、地域のお客さまと一緒に成長してきました。お客さまと地域を支える存在であり続けたい、それが私たちの思いです。

社会と地域の発展に貢献するため
グループの力を結集する要となる。

日本郵政株式会社は、日本郵政グループの持株会社です。社会と地域の発展に貢献するため、グループの要となつて、目指す姿や成長戦略を検討するとともに、社員がいきいきと働くことができる環境の実現、IT基盤の構築、サステナビリティ経営の推進などグループ各社の共通基盤の整備に取り組んでいます。

Topics

●地域をフィールドに社会的な課題の解決を目指す

「ローカル共創イニシアティブ」は、日本郵政グループが、地方のベンチャー企業等とともに地域社会の隙間を満たすユニバーサル・ベーシック・サービスの実現を目指すプラットフォームです。2022年4月から開始した本プロジェクトは、現在全国各地で少子高齢化、地方格差、気候変動といったさまざまな社会的な課題をビジネスで解決するための挑戦をしています。各地での詳しい取組内容は郵便局の魅力を発信するメディア「JPcast」で配信中ですので、ぜひご覧ください。



●グループ全体のDX推進を担う

リアルな郵便局ネットワークとデジタルとの融合により、お客さまの体験価値を徹底的に高める「みらいの郵便局」の実現に向けた取り組みを進めています。デジタルにより変革した「新しいリアルな郵便局」と、デジタルにより支えられた「局外」のさまざまな接点」がシームレスにつながることで、お客さまに、よりスマートで、より快適な体験価値を提供します。ほかにも、シームレスな顧客体験を実現する「One ID」やグループ共通の「プラットフォームアプリ」などグループ横断的なDX施策を推進しています。



Message

日本郵政は持株会社として公益性と収益性のバランスに配慮しながら、各社に共通する目標の設定や課題の解決に取り組んでいます。40万人が働く企業グループであることから、自らの成長が社会課題の解決に直結するところがあり、やりがいにつながっています。また、社会や地域に貢献したい、自らを成長させたい、そのような志を持った社員がたくさんいるのも日本郵政の魅力の一つです。

原 健太



KENTA HARA



日本郵便

郵便局数

24,251局

全国津々浦々に張り巡らされた郵便局ネットワークを活用して、日本中のお客さまにサービスと安心をお届けしています。

お客さまと地域を支える
「共創プラットフォーム」を目指して。

150年以上の歴史を持つ全国24,251の郵便局ネットワークを最大限に活かし、これまで培ってきたお客さまとの信頼関係を大切にしながら、既存の商品・サービスの利便性向上はもちろんのこと、不動産・国際物流といった新たな事業にも着手し、お客さまの多様なニーズに応えるべく挑戦を続けています。

Topics

●デジタル技術の活用

スマートフォンで簡単に年賀はがきのデザインを作成でき、作成したデザインでそのまま印刷・投かんまで注文できるサービスを展開しており、年賀はがきというアナログな媒体をデジタルと融合させることで、新たな価値を提供しています。また、日本郵便のLINE公式アカウント「はすくま」にて、トーク上のやり取りだけで荷物の再配達依頼を可能とするなど、利便性向上にも取り組んでいます。



●ドローンや配送ロボットの導入

少子高齢化や過疎化に伴う人手不足への対応の一つとして、ドローンや配送ロボット、自動運転車などの新技術を活用した郵便物や荷物の輸送・配送の実証実験を行っています。これらの新技術の利活用については、新たな挑戦を積み重ねながら、国と連携した法制度の整備にも積極的に参画しています。今後も新しい技術と物流の融合を図る取り組みを進めていきます。



Message

全国津々浦々に約2万4千ある郵便局は、その一つ一つが長年にわたり地域と共に生き、地域を支えてきた歴史があります。今後もユニバーサルサービスを維持しつつ、より一層頼りにされる、利便性の高い郵便局を目指して、近年においては、簡単に荷物を発送できる「e発送サービス」や宅配ロッカー「はこぼす」、離れて暮らすご家族のサポート「みまもりサービス」など多彩なサービスを展開しています。

大塚 紘平



KOUHEI OOTSUKA

Challenging

新たな挑戦。

JP BANK ゆうちょ銀行

貯金残高

194兆円

世界も注目する日本最大級の貯金残高。
お客様の「安心」が暮らしのため、
中長期的な資産形成にも貢献しています。

日本最大のネットワークを持つ
「最も身近で信頼される銀行」を目指します。

約1億2,000万の口座数は、邦銀トップクラス。
社会に不可欠なインフラとして、「信頼を深め、金融革新に
挑戦」をスローガンに、デジタル化の進展やお客様のライフ
スタイルの変化などを踏まえ、ビジネスモデルの変革に取り
組んでいます。

Topics

●DX推進によるリテールビジネスの変革と生産性向上

スマートフォン上で現在高の確認や送金等が可能な「ゆうちょ通帳
アプリ」や、複数の金融サービスと連携し、毎月の収支管理が
できる家計簿アプリ「ゆうちょレコ」等、すべてのお客様が利用
しやすいデジタルサービスの拡充を進めてきました。また、店舗
へのセルフ型営業店端末「Madotab」の導入やバックオフィスに
おけるAIシステム導入等を通して、お客様の利便性の向上と、
業務の効率化も図っています。



●地域への資金循環・地域リレーション機能の強化

地域金融機関等とのリレーション構築・強化により、地域
活性化ファンドへの出資や、ATM連携・事務共同化等の
「地域の金融プラットフォーム」としての役割を推進して
います。さらに、「Σビジネス」を推進し、資本性資金により、
国内企業の成長を支援していきます。また、当行独自の
ネットワークを活用し、投資先企業等のマーケティング支援や投資先企業の発掘
に取り組むことで、より一層の地域経済の発展に貢献していきます。



Message

ゆうちょ銀行は、デジタル革命や新しい生活様式への変化
など、多様化するお客様ニーズにお応えするため、多様な
事業者との連携や新商品・サービスの導入などを通し、すべて
のお客様に合ったサービスの提供を推進しています。また、市場運用における戦略投資領域への投資拡大や新たな
法人ビジネスの「Σビジネス」への挑戦等、「最も身近で信頼
される銀行」を目指して挑戦を続けています。

谷口 遥香



HARUKA
TANIGUCHI

JP INSURANCE かんぽ生命

保有契約
件数

2,098万件

保有契約件数は業界トップクラスを誇っており、
多くのお客様の暮らしの安心を支えています。

日本最大級の生命保険会社として
すべての人生を、守り続けたい。

当社は総資産やお客様へお支払いした保険金額などが日本
最大級の生命保険会社であり、シンプルでわかりやすい保険
商品を全国のお客様に提供しています。全国津々浦々の郵便局
と一体となって、お客様本位の業務運営を徹底し、お客様から
選ばれる保険会社を目指します。

Topics

●健康応援アプリの提供

お客様が健康づくりを気軽に始められ、かつ楽しみながら
続けることができる健康応援アプリ「すこやかんぽ」を提供
しています。健康診断結果を読み取って健康状態の表示等
を行う機能、スマートフォンのカメラで食事を撮影するだけで
摂取カロリー等を算出する機能など、健康づくりをサポート
する多彩なメニューを提供することで、「健やかな毎日でありたい」というお客
さまの思いにお応えしています。



●ダイバーシティの推進

多様な人材が活躍できる職場を目指して、「女性活躍
推進」「ワーク・ライフ・バランス」「障がい者雇用推進」
「LGBTフレンドリー」の4領域においてダイバーシティ・
マネジメントを推進しています。また、車いすテニスの
大谷桃子選手を当社の正社員として迎え、その活動を
支援するとともに、夢に向かって自分らしく挑戦し
続けるその姿を社会に向けて発信しています。



Message

生命保険業の基本は、万一の時の支え合いの精神にあります
が、近年はそれに加えて、さまざまな形で人生をサポート
していく役割も生命保険会社に求められています。私たち
かんぽ生命は、100年を超える伝統と日本最大級の規模を
活かしながら、ニーズにきめ細かく対応した商品開発や、
AI・RPA等のデジタル技術を活用した業務革新など、新たな
取り組みにチャレンジしています。

三宮 彩紗子



ASAKO
SANNOMIYA

Meet Our Employees

日本郵政グループ社員の声

150年以上の時を経て、全国に張り巡らされた日本郵政グループのネットワーク。

それを支える多くの人が、今日も活躍しています。

グループ一体での
DX推進により、
お客さまへ新しい価値の
提供を目指す

DX戦略部
2011年入社
岡田 彬嗣

Akitsugu
Okada



全てのお客さまが
利用しやすい安心・便利な
デジタルサービスを
生み出していく

デジタルサービス事業部
2017年入社
八木 茜里

Senri
Yagi



元気な挨拶と
笑顔を添えて、
大切な郵便物
お客さまの元へ

第二集配営業部
2015年入社
森下 由美子

Yumiko
Morishita



契約1件1件の
重みを感じながら
投融资先の
与信判断を実施

クレジット投資部
2014年入社
三宅川 桃花

Momoka
Miyagawa



 日本郵政グループ

 日本郵政

 ゆうちよ銀行

 日本郵便

 かんぽ生命

